

令和5年度



御船町社会福祉協議会事業報告書



目 次

1 基本報告	2	・介護予防・生活支援サービス事業	19～21
2 重点努力目標報告	3～4	・生活たすくるサービス事業	21
3 事業の実施状況		②生活支援体制整備事業	21
（1）法人運営・基盤強化	5～9	③御船町コミュニティセンター管理	22
（2）広報・啓発	10	④法律心配ごと相談	22
（3）地域福祉事業	10～12	⑤重層的支援体制整備移行準備事業	22～23
（4）高齢者福祉事業	12～14	⑥生活福祉資金貸付事業	24
（5）障がい児・者福祉事業	15	⑦地域福祉権利擁護事業	24
（6）児童・青少年福祉事業	15～16	⑧生活困窮者自立相談支援事業	25
（7）ボランティア活動事業	16～17	（9）その他の事業	
（8）委託事業		①赤い羽根共同募金事業	25～26
①介護予防・日常生活支援総合事業		②日赤事業	26～27
・地域介護予防活動支援事業	18～19	※別表①②	

1. 基本報告

令和6年1月に起きた能登半島地震では、甚大な人的被害、建物被害、ライフライン被害が発生しています。お亡くなりになられた方々へお悔やみを申し上げますとともに、被災されたすべての方々へお見舞いを申し上げます。一刻も早い復旧・復興をお祈りします。

このように全国各地で自然災害が頻発化、激甚化、広域化しており、災害に強い地域づくりの推進が課題です。今年度は、災害に関する協定締結団体と平時からの連携強化を目的に災害ボランティアセンターに関する研修会を開催しました。

令和3年度から、地域共生社会の実現に向けて「重層的支援体制整備事業への移行準備事業」を町より受託し取組みを進めてきました。既存の相談機関の機能を継続しつつ、複合化・複雑化した課題を抱える世帯への包括的な支援体制を構築・実践できる仕組みをつくるため、社協内に包括化推進員を配置し、情報共有連絡会や重層的支援会議を行っています。社協の見守りネットワーク事業など地域の中で住民同士が気に掛け合い、助け合う地域づくりに向けた支援も重要な取組みです。令和6年度から本事業に移行します。

令和6年3月に地域住民と福祉関係事業所等、社会福祉協議会、行政が協働して取り組んでいく第4期地域福祉計画、第3期地域福祉活動計画が策定されました。

基本理念を「みんなで支え合い、健康で安心のある暮らし」とし、次の4つの基本目標が設定されています。

基本目標1 “お互いさま”で支え合う地域づくり

基本目標2 適切な相談・福祉サービスにつながる仕組みづくり

基本目標3 誰もが安全・安心に暮らせる環境づくり

基本目標4 生きることの包括的な支援体制づくり（自殺対策推進計画）

この計画の概要版が、役場福祉課より地域住民へ配布される予定です。

2. 重点努力目標報告

（１）地域共生社会の実現に向けた地域づくりの推進

複合的な課題、制度の狭間の困りごとを抱える世帯の存在が明らかになっている。
令和３年度から重層的支援体制整備事業への移行準備事業を町より受託し取り組んでいる。
研修や協議を繰り返し行い、多機関協働による包括的な支援体制の整備が進んだ。既存の相談機関の機能を継続しつつ、社協内に配置する包括化推進員がコーディネートし情報共有連絡会や重層的支援会議を行った。令和６年２月には、役場各課職員を対象とした事業説明会が行われ、令和６年度より本事業へ移行されることとなった。

（２）福祉ニーズの把握及び地域特性を考慮した福祉活動推進

新規・既存事業内容の充実を図るなど、地域特性を考慮した福祉活動の推進に努めた。
見守りネットワーク活動支援を行い、地域での見守り支え合いの強化に努めた。
民生委員児童委員と福祉協力員の情報交換会を開催し、地域の福祉課題の共有や連携強化につながった。
人との交流活動が減少、サロン参加者も減少している。地域サロン活性化のため「ドライブサロン」を事業化した。
第８期介護保険事業計画期間中の地域包括支援センターの健康格差対策介入事業（中山間地域福祉推進モデル事業）である、七滝地区のnanaヨガ教室、nana色クラブの活動支援を行った。
子どもの頃から金銭管理に関する知識を学び、生きる力を身につけるための「こども塾」に取り組んでいる。
新規事業として御船高校３年生を対象に社会人になる前の金銭教育をグリーンコープと連携して取り組んだ。
令和５年６月県庁地域支え合い室による単身高齢者世帯の「孤立死」対策についてのヒアリングが、福祉課、建設課、社協が参加して行われた。包括的な支援体制の構築が喫緊の課題となった。建設課住宅係と公営住宅入居者状況について情報交換する機会を設けた。

（３）災害に強い地域づくりの推進

民生委員の協力を得て取組む要配慮者（一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯、重度在宅高齢者）の実態把握事業は、災害時や緊急時に活用されている。見守りネットワーク連絡会で地域防災について話し合う地区や防災マップ作りに取組む地区も出てきた。

福祉教育の一環として、御船高校１年生を対象に災害ボランティアセンターに関する講演会を開催した。

災害に関する協定締結団体と平時からの連携強化を目的に災害ボランティアセンターに関する研修会を開催した。

（４）社会福祉協議会の経営基盤の強化

社協理事会や評議員会を開催し、事業計画や予算、事業報告や決算など重要事項について審議が行われた。

社協財源の安定的確保のため、社協会費や共同募金協力を社協だよりや通知により呼びかけた。

また、区長定例会、民生委員児童委員協議会定例会、福祉協力員研修会の機会を通じて賛同を呼びかけた。

3. 【事業の実施状況】

(1) 法人運営・基盤強化

実 施 項 目	活 動 内 容	区 分
①社協理事・評議員会	①理事会の開催（年4回） 5/31、6/20、7/20(書面決議)、3/25 ②理事・監事改選 ③評議員会の開催（年3回） 6/19、7/12（書面決議）、3/25 ④評議員選任・解任委員会の開催（年1回） 6/2 ⑤決算監査 5/19 ⑥県指導監査 12/20 文書指摘2点、口頭指摘2点	法人運営 事業
②社協役員・職員研修会	①社協役員研修会は開催せず ②社協運営・基盤強化に関連する研修会に参加・ヒアリングなど 4/21 災害公営住宅の見守りに関するヒアリング（県すまい対策室主催） 5/18 リンクワーカー研修会（リモート） 5/26 第1回県社協職員連絡会 6/19 指導監査説明会（リモート） 6/21 孤立死止に向けた市町村説明会（県防災センター） 7/6 社協職員オンラインサロン 7/12 地域支え合いセンターの閉所に関するヒアリング（県社協・kvoad主催） 7/20 人権同和研究大会（益城町） 9/7 労務研修会（リモート） 9/12～13 県社協職員新任研修会（人吉市・あさぎり町） 9/14 社協職員オンラインサロン 9/26 第2回社協職員連絡会（リモート）	

	10/5 上益城地域町民公開講座 10/25 会計研修会（リモート） 10/25 地域の避難支援体制づくり研修会（カルチャーセンター） 10/31 安全運転管理者研修会（町カルチャーセンター） 11/7 社協職員オンラインサロン 12/5 災害ケースマネジメント研修会（パレア） 12/6 会計研修会（リモート） 1/25 社協職員オンラインサロン 1/29 会計研修会（熊本市医師会館） 1/30 九州・沖縄地域共生社会研修会（リモート） 1/31 県社協地域福祉課来所 意見交換会 2/16 第3回社協職員連絡会（県社協） 2/16 県社協上席来所 意見交換会 2/22 社会保険実務者研修会（グランメッセ） 2/28 労務研修会（リモート） 3/22 上益城郡内事務局長会議（益城町） 町への協力 民生委員児童委員協議会定例会（年12回） 健康づくり推進協議会（年2回） 地域公共交通活性化協議会（年3回） 町総合計画審査会（年4回） 町防災会議（年1回） 地域包括支援センター運営推進会議（年1回） 介護保険係によるヒアリング（年1回）	法人運営事業
--	---	--------

	第9期介護保険計画策定委員会（年3回） 障がい福祉計画策定委員会（年3回）		
県への協力	2/7 熊本県やさしいまちづくり推進協議会（テルサ） 4/27 御船警察署所在地連絡協議会		
事業所への協力	みどりの丘運営推進協議会（年5回） グリーンヒルみふね運営推進会議（年4回）		
③発表・講演・視察・応援			
	7/20 宮崎県日向市民児協より視察		
	8/6～9 久留米市災害ボランティアセンター派遣（久留米市）		
	8/21 地域支え合いセンター主任相談員連絡会（県防災センター）		
	9/9 九州体育スポーツ学会（大分市）		
	9/16～17 広島県東広島市防災講演会（東広島市）		
	11/30 包括的な支援体制の構築に向けた市町村研修会（人吉市）		
	12/6 熊本地震意見交換会（グリーンヒルみふね）		
	2/29 鹿児島県介護予防従事者研修会（鹿児島市）		
④内部研修			
	社協職員会議	計11回	
	社協運営会議	計11回	
	社協班長会議	計13回	
			

法人運営
事業

③社協財源の安定的確保	会費 3,168,500円（－33,000円）		法人運営 事業																									
	<table><tr><th>会員種別</th><th>会費</th><th>会員数</th><th>増減</th><th>金額</th></tr><tr><td>特別会員</td><td>10,000円</td><td>12名</td><td>2増</td><td>120,000円</td></tr><tr><td>賛助会員</td><td>1,000円</td><td>392名</td><td>37減</td><td>392,000円</td></tr><tr><td>一般会員</td><td>500円</td><td>4,543名</td><td>20減</td><td>2,271,500円</td></tr><tr><td>法人会員</td><td></td><td>40社</td><td>4減</td><td>385,000円</td></tr></table>	会員種別		会費	会員数	増減	金額	特別会員	10,000円	12名	2増	120,000円	賛助会員	1,000円	392名	37減	392,000円	一般会員	500円	4,543名	20減	2,271,500円	法人会員		40社	4減	385,000円	
会員種別	会費	会員数		増減	金額																							
特別会員	10,000円	12名		2増	120,000円																							
賛助会員	1,000円	392名		37減	392,000円																							
一般会員	500円	4,543名	20減	2,271,500円																								
法人会員		40社	4減	385,000円																								
④災害ボランティアセンター 設置に係る取組	7/7 6市町社協災害時相互応援協定連絡会 8/30 御船ライオンズクラブへ一年間の活動報告 12/5 災害ケースマネジメント研修会（パレア） 2/1～2 熊本県災害マネジメント研修会（テルサ） 3/18 御船町災害ボランティアセンター設置に関する 関係者等研修会（ひばり荘） 参加者：県ボランティアセンター、御船町福祉課 危機管理防災課、御船ライオンズクラブ 町ボランティア連絡協議会、社協理事、社協職員 		地域福祉 推進事業																									
⑤BCP（事業継続計画）	①見直しの実施 ②町福祉課にも意見を求めた。		共同募金 配分事業																									
⑥福祉サービス苦情解決	①福祉サービス利用者等からの苦情の適切な解決に努め、 適正な運営を実施するため第三者委員を2名配置。 社協だより7月号に顔写真付きで周知を行う。 ②研修会 10/26 福祉サービス苦情解決研修会（北区市民センター） <table><tr><td>苦情件数</td><td>1 件</td></tr><tr><td>相談件数</td><td>0 件</td></tr></table>			苦情件数	1 件	相談件数	0 件																					
苦情件数	1 件																											
相談件数	0 件																											

(2) 広報・啓発

実 施 項 目	活 動 内 容	区 分
①社協だよりの発行	①年6回発行。記事に対するコメントが増えてきた。	共同募金 配分事業
②ホームページの更新	①ホームページをリニューアルし、社協活動、福祉サービスの制度について新しい情報を更新した。	法人運営 事業
③社協ガイドブックの全戸配布	①現在作成中であり、令和6年度配布予定。	地域福祉 推進事業

(3) 地域福祉事業

実 施 項 目	活 動 内 容			区分									
①災害世帯への見舞金	① 災害件数 2件（全焼）			地域福祉 推進事業									
②寄附の受付	① 寄付内訳	<table><tr><td>香典返し</td><td>143件</td><td>2,950,000円</td></tr><tr><td>一般寄付</td><td>17件</td><td>232,796円</td></tr><tr><td>合計</td><td>160件</td><td>3,182,796円</td></tr></table>	香典返し		143件	2,950,000円	一般寄付	17件	232,796円	合計	160件	3,182,796円	
香典返し	143件	2,950,000円											
一般寄付	17件	232,796円											
合計	160件	3,182,796円											
	② その他 米等 1件												
③地区社協及び 見守りネットワーク活動支援	①地区社協活動の支援（木倉・七滝・田代東部地区社協） 6/20 木倉地区社協連絡会 7/12 地区社協助成金交付、研修会 8/5 七滝地区社協連絡会 12/9 田代東部地区社協連絡会、独居高齢者友愛訪問 12/14 木倉校区社協連絡会 2/26 七滝地区社協連絡会 ②活動費の助成 地区社協・見守りネットワーク活動地区（3社協、水越、22地区）												

	③ネットワーク活動支援 ※別表①参照 年2回の連絡会のうち1回は社協職員も参加し、地域の課題や地区で気になる方についての情報把握に努めている。 26回参加した。 <table><tr><td>取り組み行政区数</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td></td><td>52</td><td>53</td><td>53</td><td>53</td><td>56</td><td>56</td></tr></table> ④見守りネットワーク未設置地区へのアプローチ 5/30 小坂区説明会 ⑤新規立ち上げ区への支援 4/8 下梅木区	取り組み行政区数	H30	R1	R2	R3	R4	R5		52	53	53	53	56	56	
取り組み行政区数	H30	R1	R2	R3	R4	R5										
	52	53	53	53	56	56										
④見守り世帯の把握	①現状把握 民生委員の協力で生活実態に沿った世帯の把握を行っている。 4月 一人暮らし高齢者 869名 (42名増) 高齢者のみ世帯 963世帯 (57世帯増) 10月 重度在宅介護高齢者 69名 (1名減) ②見守りネットワーク要援護者の把握 456世帯 取り組み地区 56地区 ③緊急安心カード設置世帯数の把握 806世帯 取り組み地区 全地区															
⑤成年後見制度についての相談および研修会	①地域福祉権利擁護事業や生活困窮者自立相談支援事業、くらしの相談窓口で成年後見に関わる相談を受け、関係機関と連携し相談支援を行った。 ・地域福祉権利擁護事業からの成年後見への移行 2名 ・成年後見制度に関わる相談支援 12名 ②研修等 法人後見研修会 (振興局) 年2回 地域連携ネットワーク会議 (第2分庁) 年2回 成年後見中核機関研修会 上益城成年後見制度利用促進協議会 (振興局)															

地域福祉推進事業

地域福祉
推進事業

⑥預かりサービス	①金銭管理等に不安のある方の現金及び重要書類等を一時的に預かり、支援を行った。 サービス利用者 9名	
⑦町営住宅支援	①建設課住宅係との意見交換会 ②4/16 上高野団地と地域の交流会（上高野公民館）	地域福祉 推進事業
⑧生活支援世帯への歳末見舞金 配付	①民生委員の調査や社協の事業での関わりで把握した生活困窮の世帯に対し、安心してお正月を迎えられるように歳末たすけあい募金より見舞金を配付した。7世帯 11名に配付 ・11/27 生活支援世帯審査会を開催（福祉課、民協会長、副会長、社協）	共同募金 配分事業
⑨食料等緊急一時支援	①一時的に生計維持が困難となられた世帯に対し、食料等現物の給付支援を行った。 ・14世帯に現物給付 ・食料等は購入の他、フードバンクや企業からの寄付で対応している。	法人運営 事業 (事業費)

（４）高齢者福祉事業

実 施 項 目	活 動 内 容	区 分
①配食サービス	①毎週水曜日、配食ボランティア及び福祉協力員により配食 一人暮らし等高齢者に対し孤独感の解消に努めると共に安否確認を行った。 年間 2,417食（25食増） 利用者数 49名（R6.3月末現在） ②夏場の抗菌シートの導入	共同募金 配分事業



②住民参加型生活支援 サービスの支援	①水越地域活性化協議会への助成 1食150円の助成 利用者数 59名（R6.3月末現在） 毎月1回 年間 702食（33食減）	共同募金 配分事業								
③地域サロンの活動支援	①サロン数 69行政区 72サロン ※別表②参照 休止中サロン 3サロン <table><tr><td></td><td>回数</td><td>実人数</td><td>延べ人数</td></tr><tr><td>令和5年</td><td>1,286回</td><td>905名</td><td>11,349名</td></tr></table> ②職員派遣 63サロンに支援 計90回 ③サロン保険加入 ④サロン関係者研修会・相談会の開催 ・7月 サロン研修会および助成金の交付 60サロン ・2月 サロン相談会（4か所） ⑤レクリエーション用品貸出 82回 ⑥新規サロンの立ち上げ支援 ・元気かい（牛ヶ瀬2区 男性のみのサロン） ・向山会（向山区） ・瓜山会（瓜山区） ・自主グループ「かたろう会」支援 ⑦ドライブサロン（高齢者等の外出支援） ・利用サロン数：28サロン 参加者数：265名 ・認知症の方やその家族も含めてドライブが楽しめ、 高齢者の生きがいや楽しみに良い影響を与えている。 人気スポット 1位 宇城彩館 2位 通潤橋 3位 萌の里  		回数	実人数	延べ人数	令和5年	1,286回	905名	11,349名	地域福祉 推進事業 <
	回数	実人数	延べ人数							
令和5年	1,286回	905名	11,349名							

④福祉協力員活動支援	①民生委員と連携し、高齢者の友愛訪問やサロン活動を支援しながら安否確認を行う。 <table><tr><td>福祉協力員数</td><td>53名</td></tr><tr><td>活動件数</td><td>延べ 9,103件（3577件増）</td></tr><tr><td>活動日数</td><td>延べ 5,515日（806日増）</td></tr></table> ②研修を企画し、協力員のスキルアップを図る。 1回目 7/5 「福祉協力員の役割と活動について」 2回目 2月 民生児童委員との情報交換会（校区単位で3日間開催）	福祉協力員数	53名	活動件数	延べ 9,103件（3577件増）	活動日数	延べ 5,515日（806日増）	地域福祉 推進事業
福祉協力員数	53名							
活動件数	延べ 9,103件（3577件増）							
活動日数	延べ 5,515日（806日増）							
⑤重度在宅高齢者への見舞金 配付	①民生委員を通じて把握 概ね介護3以上の在宅高齢者世帯を対象 12月に69名に配付 1名につき 5,000円							
⑥在宅介護者のつどい	①12/8 希望ヶ丘病院オレンジカフェとの共催 16名参加 ②癒しセットを125世帯に民生委員を通じて配付。 	共同募金 配分事業						
⑦老人会の支援	8/16 上益城郡内シルバーヘルパー養成講座（カルチャーセンター） 9/15 荒瀬老人会 9/27 御船町シルバーヘルパー実技指導「高齢者の介助方法と応急処置」（第1分庁）	地域福祉 推進事業						

(5) 障がい児・者福祉事業

実 施 項 目	活 動 内 容	区 分
①車いすの無料貸し出し	①保有台数17台 59台貸出 車いす1台寄贈	共同募金 配分事業
②各種団体への支援	①団体への活動支援として「知的障がい者福祉会（かっぱの会）」への補助金交付	
③障がいに対する理解・啓発	①7/4 中学生職場体験で「ユニバーサルデザインと車いすの使い方について」指導 ②8/23 障がい者自立支援研修（蘇陽町） ③10/9 パラスポーツ体験会への協力（ボッチャ、テーブル卓球、車いすバスケット）	

(6) 児童・青少年福祉事業

実 施 項 目	活 動 内 容		区分								
①ボランティア協力校 8校 （社協指定）	①学校内外における社会福祉に 関する学習や体験活動を通じ ボランティア意識の啓発を図る。 ②御船高校学校運営会議（年2回）	<table><tr><td>小学校</td><td>6校</td></tr><tr><td>中学校</td><td>1校</td></tr><tr><td>高校</td><td>1校</td></tr><tr><td>計</td><td>8校</td></tr></table>	小学校	6校	中学校	1校	高校	1校	計	8校	共同募金 配分事業
小学校	6校										
中学校	1校										
高校	1校										
計	8校										
②ワークキャンプの実施	①ワークキャンプ 5事業所（新規2事業所）で6日間開催（参加者20名）										
③ひとり親世帯入学祝金配付	①小学校入学 8名 中学校入学 15名 計 23名										
④こどもの福祉対策	①こども塾 将来の生活困窮者の予防として、子どもの頃からお金の使い方を学ぶ体験型事業。 グリーンコープ協力のもと、ファイナンシャルプランナーを講師に迎え、ゲームで金銭感覚を 身につける。8/15開催 小学3～4年生 14名参加 中学生の職場体験の一環でポスター作成やお土産を準備してもらった。										

	②御船高校学習会 「新社会人になる前に」 10/18開催 高校3年生 120名参加 給料明細の見方やクレジットの仕組み、 一人暮らしや車購入にかかる経費など金銭教育を行う。 グリーンコープとファイナンシャルプランナーの協力で行う。 	共同募金 配分事業
⑤こどもに関する研修・会議	①要保護児童DV対策協議会（年2回） ②こども未来課とのケース会議（年1回）	
⑥子ども110番の家	・御船町青少年健全育成町民会議御船支部より依頼 かけこみ件数 0件	
⑦中学生職場体験	・御船中学校2年生 2名が体験（3日間）	
⑧福祉授業	災害福祉教育 御船高校のスクールミッションに併せて1年生を対象に講演会を開催 190名 「熊本地震における災害ボランティアセンターについて」 講師：社協職員 「令和2年人吉球磨豪雨災害について」 講師：球磨村社協 槻木正剛氏 災害非常食の配布 	

(7) ボランティア活動事業

実施項目	活動内容	区分
①ボランティアセンターの運営の充実	①ボランティアの育成と組織化を促進する目的で、「個人・団体ボランティア」の登録を導入。 ・登録者は個人15名、4団体が登録中。個人ボランティア5名 新規登録 ②ボランティア保険 受付窓口	共同募金 配分事業

②ボランティア連絡協議会の活動支援	①ボランティア連絡協議会事務局として、地域のボランティア活動の振興に務めた。 ・ 4/19 町ボランティア連絡協議会役員会議・監査 ・ 5/15 町ボランティア連絡協議会総会 ・ 5/26 県ボランティア連絡協議会総会（県社協） ・ ボランティア連絡協議会活動助成金交付 ・ 火の国ボランティアフェスティバル（人吉・球磨）39名 ②10/21 シンボルロード花植え 90名		共同募金 配分事業
③研修会	6/20 市町村社協ボランティア研修会（森都心プラザ） 8/29 ボランティアコーディネーター研修会（リモート） 9/28 ボランティア活動推進研修会（リモート） 3/15 福祉教育推進研究会議（県社協）		
⑤保護犬猫団体との連携 （やまぼうしの樹）	①地域でのペット飼育の課題、人、動物に福祉を掛け合わせた「ふくふくネットワーク」の説明 11/14 やまぼうしの樹、御船保健所、社協 ②多頭飼育や避妊去勢手術等に関するアドバイス、災害時のペット同伴避難場所の情報提供 1/29 やまぼうしの樹、社協		

(8) 受託事業（町委託）

実 施 項 目	活 動 内 容	区分																		
①介護予防・日常生活支援総合事業 ・地域介護予防活動支援事業	①介護予防・生活支援サポーターの養成 ・4日間開催（町民憩の家）16名受講	地域介護 予防活動 支援事業																		
	②介護予防・生活支援サポーター連絡協議会の支援 ・代表者会議：5/29（町第一分庁） 代表者研修会：9/29（菊陽町） ・全体研修会：11/29 「ロアッソ熊本新人研修」 選手と一緒に運動しよう（サポーター）51名参加																			
・元気クラブ	③介護予防・生活支援サポーター活動実績 (単位:名) <table><tr><td></td><td>登録者数</td><td>新規登録者</td><td>介護予防のみ</td><td>サロンのみ</td><td>両方</td><td>未活動</td><td>退会</td><td>平均年齢</td></tr><tr><td>合計</td><td>423</td><td>12</td><td>45</td><td>196</td><td>50</td><td>139</td><td>11</td><td>72.8</td></tr></table>		登録者数	新規登録者	介護予防のみ	サロンのみ	両方	未活動	退会	平均年齢	合計	423	12	45	196	50	139	11	72.8	
		登録者数	新規登録者	介護予防のみ	サロンのみ	両方	未活動	退会	平均年齢											
合計	423	12	45	196	50	139	11	72.8												
	養成した介護予防・生活支援サポーターにより健康寿命の延伸を目的に行う介護予防教室。 旧小学校区10か所で月2回程度行う。 令和5年度より田代西部「人生百歳クラブ」を受託 ※第7期中山間地域福祉推進モデル事業として誕生																			

④事業実績（元気クラブ等）

校区	開催回数	実人数	平均年齢	男性数	合計	1回平均	新規者	終了
高木	20	10	87.1	0	154	7.7	1	2
御船	21	11	84.4	0	179	8.5	0	4
七滝	20	8	85.4	0	77	3.9	3	2
上野	20	10	86.4	1	140	7.0	4	1
水越	20	7	90.9	1	108	5.4	0	0
滝尾	21	11	86.2	1	174	8.3	3	1
田代東部	21	8	81.8	1	142	6.8	0	0
田代西部	21	9	84.8	0	129	6.1	1	1
木倉	21	13	81.6	1	174	8.3	4	4
小坂	20	12	82.3	2	199	10.0	1	1
ホタルの学校	12	13	88.0	4	125	10.4	0	0
人生百歳クラブ	12	8	82.9	5	66	5.5	0	2
計	229	120	85.2	16	1667	7.3	17	18

地域介護
予防活動
支援事業

・介護予防・生活支援サービス事業
通所サービスA

①事業実績（いきいきトレーニング教室） 毎週型

校区	開催回数	実人数	平均年齢	男性数	合計	1回平均	新規者	終了
いきいき(平坦・火)	42	13	82.0	2	317	7.5	7	4
いきいき(平坦・金)	40	4	79.5	4	151	3.8	0	0
いきいき(山間)	41	12	84.8	2	346	8.4	2	3
計	123	29	82.1	8	692	6.6	9	7

介護予防・
生活支援
事業
(通所型)

その他のプログラム

①健康教育

時期	職種名	健康教育内容
6、12月	健康運動指導士	基本チェックリスト、体力測定
5、10月	歯科衛生士	アンケート 講話「お口の体操をしよう」「大きな声を出す。上手な水分補給」
1月	管理栄養士	味噌汁塩分測定、講話「三寒四温」低栄養
7、11月	看護師	講話「熱中症」「ヒートショック」「睡眠」
	平成音大教員	音楽療法
	健爪師	靴の選び方

②買物プログラム

協力店：中田商店（七滝）渡邊商店（上野）

- ・上野元気クラブ 11回
- ・七滝元気クラブ 11回（5回は利用者無し）
- ・いきいきトレーニング教室（山間部） 12回

③永年勤続表彰

	5年	10年	15年
表彰者数	6名	3名	1名

④利用者の送迎

教室名	回数	延べ利用者数
元気クラブ	205	1,130名
水越ホテルの学校	12	81名
田代西部人生百歳クラブ	7	7名
いきいきトレーニング教室	121	544名

⑤研修会 4/26 介護予防事業評価会

9/4 運動機能評価システム報告会（リモート）

10/17 新しい介護予防トランポリン体験会

3/22 介護サービス相談員派遣等事業に係る三者会議

地域介護
予防活動
支援事業

・介護予防・生活支援サービス事業（訪問型） 事業名：生活たすくするサービス	①アドバイザーの活動 マッチングやたすくするメイトの活動支援を行う ②養成講座：11/27 4名受講 ③睡眠ヘルパーへの呼びかけ 社協だよりにて協力の呼びかけを行い、活動につなげる。 ④フォローアップ研修：10/30開催 7名参加 ・たすくするサービス事業活動報告 ・転びにくい生活環境を整える 講師：上益城リハビリテーション広域支援センター理学療法士 ⑤実績 <table><tr><th>メイト登録数</th><th>サービス利用者数</th><th>活動メイト数</th><th>メイト活動延べ時間</th></tr><tr><td>49名</td><td>11名</td><td>15名</td><td>282時間</td></tr><tr><td>1名増</td><td>2名増</td><td>2名増</td><td>50.5時間減</td></tr></table> (昨年比)	メイト登録数	サービス利用者数	活動メイト数	メイト活動延べ時間	49名	11名	15名	282時間	1名増	2名増	2名増	50.5時間減	介護予防・生活支援事業（訪問型）								
メイト登録数	サービス利用者数	活動メイト数	メイト活動延べ時間																			
49名	11名	15名	282時間																			
1名増	2名増	2名増	50.5時間減																			
②生活支援体制整備事業	①生活支援コーディネーターの活動 ・オレンジハートきのくらの支援 ・七滝地区中山間地域福祉推進モデル事業 nana色クラブ・nanaヨガの活動支援 ・活動プログラムの企画やコーディネート ・民生委員児童委員、福祉協力員の情報交換会 <table><tr><th>日程</th><th>地区</th><th>民生委員</th><th>福祉協力員</th><th>合計</th></tr><tr><td>2/21</td><td>御船・木倉</td><td>17名</td><td>16名</td><td>33名</td></tr><tr><td>2/22</td><td>高木・小坂・滝尾</td><td>16名</td><td>15名</td><td>31名</td></tr><tr><td>2/28</td><td>七滝・水越・上野・田代</td><td>11名</td><td>16名</td><td>27名</td></tr></table> ②研修会・会議 月1回 生活支援体制整備会議 計12回 月1回 自立支援型地域ケア会議 計11回 年2回 地域包括ケア推進会議 10/16 生活支援コーディネーター研修会（リモート） 	日程	地区	民生委員	福祉協力員	合計	2/21	御船・木倉	17名	16名	33名	2/22	高木・小坂・滝尾	16名	15名	31名	2/28	七滝・水越・上野・田代	11名	16名	27名	地域福祉推進事業
日程	地区	民生委員	福祉協力員	合計																		
2/21	御船・木倉	17名	16名	33名																		
2/22	高木・小坂・滝尾	16名	15名	31名																		
2/28	七滝・水越・上野・田代	11名	16名	27名																		



③御船町コミュニティセンター 管理	①利用実績 <table><tr><td>施設名</td><td>利用者数</td><td>利用料</td></tr><tr><td>ひばり荘</td><td>1,393名</td><td>114,600円</td></tr><tr><td>滝川みんなの家</td><td>235名</td><td>22,190円</td></tr><tr><td>合計</td><td>1,628名</td><td>136,790円</td></tr></table>	施設名	利用者数	利用料	ひばり荘	1,393名	114,600円	滝川みんなの家	235名	22,190円	合計	1,628名	136,790円	御船町 コミュニティ センター事業						
施設名	利用者数	利用料																		
ひばり荘	1,393名	114,600円																		
滝川みんなの家	235名	22,190円																		
合計	1,628名	136,790円																		
④法律・心配ごと相談	①月に1回、弁護士、行政相談委員、人権擁護委員による無料相談 ②相談件数 56件（75名） ③相談内容 <table><tr><td>離婚</td><td>1件</td><td>家族</td><td>4件</td><td>人権・法律</td><td>4件</td></tr><tr><td>住宅</td><td>3件</td><td>苦情</td><td>3件</td><td>その他</td><td>8件</td></tr><tr><td>財産</td><td>32件</td><td>職業・生業</td><td>1件</td><td></td><td></td></tr></table>	離婚	1件	家族	4件	人権・法律	4件	住宅	3件	苦情	3件	その他	8件	財産	32件	職業・生業	1件			
離婚	1件	家族	4件	人権・法律	4件															
住宅	3件	苦情	3件	その他	8件															
財産	32件	職業・生業	1件																	
⑤重層的支援体制整備事業への 移行準備事業 ・多機関協働による包括的支援 体制構築業務 ・アウトリーチ等の充実による 継続的支援業務 ・参加支援	①「くらしの相談」 社協職員が担当事業の分野や属性の枠を超え、くらしの相談窓口で相談を受けとめた。 相談しやすい環境整備として、メールやSNS、翻訳アプリも導入している。 <table><tr><td>「くらしの相談」のべ件数</td><td>453件 (136件増)</td><td>・多機関協働での相談対応</td><td>43件</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・アウトリーチ等による継続的支援の相談対応</td><td>20件</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・参加支援に係る相談対応</td><td>9件</td></tr></table> ②包括化推進員の活動 ・多機関との連絡調整 ・重層事業に係る町職員の理解を深めるために説明会を行った。 ・多機関と協働して伴走型の支援を行った。 ・連絡会事前打ち合わせ（町、社協、三幸）計11回	「くらしの相談」のべ件数	453件 (136件増)	・多機関協働での相談対応	43件			・アウトリーチ等による継続的支援の相談対応	20件			・参加支援に係る相談対応	9件	地域福祉 推進事業						
「くらしの相談」のべ件数	453件 (136件増)	・多機関協働での相談対応	43件																	
		・アウトリーチ等による継続的支援の相談対応	20件																	
		・参加支援に係る相談対応	9件																	

重層的支援会議	情報共有連絡会 (定例・随時)	個別ケース会議
3回	25回	5回

支援プラン作成 3件
連絡会でのケース検討 21件



③生活支援コーディネーターと連携し、地域サロン相談会で地域の課題を把握した。

④研修会・視察

5/15	先進地視察（玉東町）
6/14	包括化推進員連絡会（合志市）
7/20	先進地視察（大津町）
9/15	先進地視察（益城町）
10/24	地域共生社会推進人材養成研修会（KKR）
11/7	包括的支援体制体制研修会（県庁）
11/30	包括的な支援体制の構築に向けた市町村研修会（人吉市）

地域福祉
推進事業

(県社協委託)

⑥生活福祉資金貸付事業	①総合支援資金・福祉資金及び教育支援資金等及び困り事の相談受付、特例貸付の申請業務を行った。 <table><tr><td>貸付相談</td><td>26件</td></tr><tr><td>本則生活福祉資金決定</td><td>0件</td></tr></table> ②新型コロナ特例貸付対象者債権管理業務 令和4年9月末で貸付が終了し、令和5年1月から債権管理業務を行った。 本人からの債務生活状況に関する架電、受電相談支援業務 38件 償還免除や据え置き期間延長等の情報提供や手続きの支援を行った。 アウトリーチ等の支援に町や他機関と連携し、他事業・他機関へのつなぎを行った。 <table><tr><td>書面による照会</td><td>143件</td><td>訪問</td><td>1件</td></tr><tr><td>架電</td><td>35件</td><td>来所</td><td>21件</td></tr></table> ③研修会 12/6 生活福祉資金事務担当研修（KKR） 1/30 生活福祉資金説明会（リモート）	貸付相談	26件	本則生活福祉資金決定	0件	書面による照会	143件	訪問	1件	架電	35件	来所	21件	法人運営 事業 (事業費)
貸付相談	26件													
本則生活福祉資金決定	0件													
書面による照会	143件	訪問	1件											
架電	35件	来所	21件											
⑦地域福祉権利擁護事業 （日常生活自立支援事業）	①認知症、精神・知的障がい等の判断能力低下がみられる方への福祉サービスの利用支援や 金銭管理サービス等の相談支援を行った。障がいの特性による生活支援が増えている。 <table><tr><td colspan="2">年間利用者数（実人数）</td><td>41名</td></tr><tr><td rowspan="4">内訳</td><td>認知症</td><td>18件</td></tr><tr><td>知的障がい</td><td>17件</td></tr><tr><td>精神障がい</td><td>5件</td></tr><tr><td>その他</td><td>1件</td></tr></table> R5年度 ・新規契約 8件 ・解約、終了 6件 R6.3.31現在 34名 ②研修会 8/30 地域福祉権利擁護事業担当者研修会	年間利用者数（実人数）		41名	内訳	認知症	18件	知的障がい	17件	精神障がい	5件	その他	1件	福祉サービス 利用援助 事業
年間利用者数（実人数）		41名												
内訳	認知症	18件												
	知的障がい	17件												
	精神障がい	5件												
	その他	1件												

⑧生活困窮者自立相談支援事業	①くらしの中のお金、仕事、家族のこと等様々な 総合相談と支援を行った。	②生活困窮者自立相談支援事業調整会議 へ参加し、支援プランの検討を行った。 毎月開催（郡内5町＋美里町）	③研修会 7/24 プラン推進意見交換会（県庁） 12/15 全国大会報告会（振興局） 2/6 担当者連絡会議(リモート)	新規相談件数（実人数）		103件		
				支援プラン作成		12件		
				終結		5件		
				任意事業等利用内訳				
				家計相談支援事業		9件		
				就労準備支援事業		5件		
				就労支援事業（社協）		7件		
				学習支援事業		2件		
				住宅確保給付金		2件		
				法人運営 事業 (事業費)				

(9) その他の事業

実 施 項 目	活 動 内 容	区 分																
①共同募金事業 （赤い羽根・歳末たすけあい）	①共同募金月間（期間：10/1～12/31） 区長・婦人会に募金活動を依頼。町内各事業所に職域募金、学校にも協力を依頼。 募金総額 4,935,998円 （－284,221円） ◎赤い羽根募金 内訳 <table><tr><td>戸別募金</td><td>2,294,000円</td><td>職域募金</td><td>489,500円</td></tr><tr><td>個人募金</td><td>8,228円</td><td>学校募金</td><td>84,502円</td></tr><tr><td>法人募金</td><td>396,160円</td><td>その他</td><td>54,471円</td></tr><tr><td colspan="2">実績</td><td colspan="2">3,326,861円</td></tr></table> ◎歳末たすけあい募金 1,452,500円 （－13,300円） ◎自動販売機 156,637円 （＋24,237円）	戸別募金	2,294,000円	職域募金	489,500円	個人募金	8,228円	学校募金	84,502円	法人募金	396,160円	その他	54,471円	実績		3,326,861円		共同募金 配分事業
戸別募金	2,294,000円	職域募金	489,500円															
個人募金	8,228円	学校募金	84,502円															
法人募金	396,160円	その他	54,471円															
実績		3,326,861円																

	②火災見舞い（2件 全焼） ③御船町共同募金審査会の開催 6/20 ④団体への補助 8団体（新規1団体） ⑤地域福祉活動費の交付 地区の共同募金額の1割を地域活動費として地域に交付 ⑥研修会 8/30 県共同募金職員研修会（KKR） 2/28 共同募金委員会事務局長会議（KKR）	
②日赤事業	①赤十字運動月間（期間：5/1～5/31） 区長・婦人会に会員活動を依頼した。 ②日赤熊本県支部との連携（事務局業務） ・事業計画、報告、調査等 ・会員への連絡、会計業務 ・救援金、募金等の協力 ③地域福祉活動費の交付 地区の日赤会費額の1割を地域福祉活動費として地域に交付 ④火災見舞（2件 全焼）	

⑤日赤会員内訳

2,537,900円（－115,700円）

会員名	会費	会員数	増減	実績額
一般会員	500円	4,362名	4減	2,182,000円
特別会員	2,000円	150名	10減	300,000円
法人会員	10,000円	4社	0	40,000円
寄付		59名	0	5,900円
その他		1名	0	10,000円

新規特別会員	3名
特別会員章	6名

※10年で20,000円に達した方

⑥日赤会計収支

収入		支出	
前年度繰越	222,685円	事務・事業費	88,760円
分区交付金	516,180円	会費送納	2,537,900円
会費	2,537,900円	地域福祉活動費	246,990円
利息	12円	日赤車両積立費	200,000円
		次年度繰越	203,127円
合 計	3,276,777円	合 計	3,276,777円

令和 5年度 法人単位資金収支計算書

(自 令和 5年 4月 1日 (至 令和 6年 3月 31日

(単位：円)

勘 定 科 目			予 算 (A)	決 算 (B)	差異 (A)-(B)	備 考	
事業活動による収支	収入	251 会費収入	3,000,000	3,168,500	168,500		
		253 寄附金収入	4,500,000	3,182,796	1,317,204		
		254 経常経費補助金収入	32,880,000	30,560,219	2,319,781		
		255 受託金収入	53,108,000	52,046,066	1,061,934		
		257 事業収入	365,000	352,490	12,510		
		258 負担金収入	2,000,000	1,623,000	377,000		
		270 受取利息配当金収入	10,000	1,202	8,798		
		271 その他の収入	481,000	405,272	75,728		
	事業活動収入計 (1)		96,344,000	91,339,545	5,004,455		
	支出	201 人件費支出	68,330,000	63,568,012	4,761,988		
		202 事業費支出	19,931,000	19,223,832	707,168		
		203 事務費支出	8,460,000	4,954,561	3,505,439		
		209 共同募金配分金事業費	5,580,000	5,057,659	522,341		
		事業活動支出計 (2)		102,301,000	92,804,064	9,496,936	
	事業活動資金収支差額 (3)=(1)- (2)		5,957,000	1,464,519	4,492,481		
施設整備	収入	施設整備等収入計 (4)		(	(	(	
	支出	施設整備等支出計 (5)		(	(	(	
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)- (5)		(	(	(		
その他の活動	収入	296 その他の活動による収入	2,000,000	3,072,140	1,072,140		
		その他の活動収入計 (7)		2,000,000	3,072,140	1,072,140	
	支出	234 基金積立資産支出	10,000	610	9,390		
		245 その他の活動による支出	3,200,000	2,695,860	504,140		
		その他の活動支出計 (8)		3,210,000	2,696,470	513,530	
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)- (8)		1,210,000	375,670	1,585,670		
	予備費支出 (10)		(	—	(		
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)		7,167,000	1,088,849	6,078,151			
12 前期末支払資金残高 (12)			7,167,000	50,405,862	43,238,862		
当期末支払資金残高 (11)+ (12)			(	49,317,013	49,317,013		

令和5年度 法人単位事業活動計算書

(自 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

社会福祉法人 御船町社会福祉協議会

(単位：円)

勘 定 科 目			当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増 減 (A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	会費収益	3,168,500	3,201,500	33,000
		寄附金収益	3,182,796	3,987,592	804,796
		経常経費補助金収益	30,560,219	26,347,726	4,212,493
		受託金収益	52,046,066	49,787,185	2,258,881
		事業収益	352,490	236,480	116,010
		負担金収益	1,623,000	2,021,400	398,400
		その他の収益	26,800	0	26,800
		サービス活動収益計 (1)	90,959,871	85,581,883	5,377,988
	費用	人 件 費	61,376,136	56,071,918	5,304,218
		事 業 費	19,223,832	18,084,315	1,139,517
		事 務 費	4,954,561	8,574,041	3,619,480
		共同募金配分金事業費	5,057,659	4,391,185	666,474
		減価償却費	915,937	918,901	2,964
		サービス活動費用計 (2)	91,528,125	88,040,360	3,487,765
	サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)		568,254	2,458,477	1,890,223
サービス活動	収益	受取利息配当金収益	1,202	1,258	56
		その他のサービス活動外収益	378,472	184,607	193,865
		サービス活動外収益計 (4)	379,674	185,865	193,809
	費用	サービス活動外費用計 (5)	0	0	0
		サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	379,674	185,865	193,809
経常増減差額 (7)=(3)+(6)		188,580	2,272,612	2,084,032	
特別増	収	特別収益計 (8)	0	0	0
	費	特別費用計 (9)	0	0	0
	特別増減差額 (10)=(8)-(9)		0	0	0
当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)		188,580	2,272,612	2,084,032	
繰越活動増減差	前期繰越活動増減差額 (12)		48,967,234	49,240,535	273,301
	当期末繰越活動増減差額 (13)=(11)+(12)		48,778,654	46,967,923	1,810,731
	基本金取崩額 (14)		0	0	0
	基金取崩額 (15)		0	0	0
	その他の積立金取崩額 (16)		0	2,000,000	2,000,000
	その他の積立金積立額 (17)		610	685	75
	次期繰越活動増減差額 (18=13+14+15+16-17)		48,778,044	48,967,234	189,190

令和 5年度 法人単位貸借対照表

令和 6年 3月 31日現在

社会福祉法人 御船町社会福祉協議会

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	当年度末	前年度末	増 減	科 目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	53,908,442	56,644,047	2,735,605	流動負債	8,073,425	9,045,185	971,760
現金預金	44,508,725	50,461,832	5,953,107	事業未払金	1,236,132	523,942	712,189
事業未収金	9,377,465	6,159,965	3,217,500	その他の未払金	2,174,175	5,047,600	2,873,425
前払費用	22,252	22,250	2	預 り 金	50,400	73,500	23,100
固定資産	49,720,935	51,012,545	1,291,609	職員預り金	1,130,722	583,142	537,580
基本財産	1,000,000	1,000,000	0	賞与引当金	3,482,000	2,807,000	675,000
定期預金	1,000,000	1,000,000	0	固定負債	15,189,955	18,056,835	2,866,879
その他の固定資産	48,720,935	50,012,545	1,291,609	退職給付引当金	15,189,955	18,056,835	2,866,879
車輛運搬具	778,961	1,298,265	519,303	負債の部合計	23,263,380	27,102,020	3,838,639
器具及び備品	992,515	1,389,151	396,636	純 資 産 の 部			
退職手当積立基金預け金	16,361,510	16,737,790	376,280	基 本 金	1,000,000	1,000,000	0
財政調整基金積立資産	30,587,945	30,587,335	610	基 本 金	1,000,000	1,000,000	0
				国庫補助金等特別積立金	0	0	0
				その他の積立金	30,587,945	30,587,335	610
				積立金	30,587,945	30,587,335	610
				次期繰越活動増減差額	48,778,042	48,967,232	189,190
				(うち当期活動増減差額)	188,580	2,272,612	2,084,032
				純資産の部合計	80,365,995	80,554,572	188,580
資産の部合計	103,629,381	107,656,592	4,027,212	負債及び純資産の部合計	103,629,381	107,656,592	4,027,212

財 産 目 録

令和6年3月31日 現在

1：法人会計

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
資産の部						
1 流動資産						
現金預金	肥後銀行御船支店	-	運転資金	-	-	44,508,726
事業未収金	町社会福祉係、町包括支援センター、県社協	-	生活支援コーディネーター、介護予防、生活困窮者自立支援事業、地域福祉権利擁護事業	-	-	9,377,466
未収金		-		-	-	0
前払費用		-	車両引外預託金	-	-	22,250
流動資産合計						53,908,442
2 固定資産						
(1) 基本財産						
定期預金	肥後銀行御船支店	-	資本金	-	-	1,000,000
基本財産合計						1,000,000
(2) その他の固定資産						
車輛運搬具	御船町社会福祉協議会	-	車(4台): トヨタ、ホンダ ステップワゴン、ダイハツミラ、日産キャラバン	7,751,330	6,972,369	778,961
器具及び備品	御船町社会福祉協議会	-	耐火金庫、収納倉庫、パソコン、エアコン、テント、ガスカセット発電機、IHクッキングヒーター、顔認証システム、空気清浄機	6,281,811	5,289,292	992,519
退職手当積立基金預け金	全国社協、熊本県社協	-	職員退職積立金預け金	-	-	16,361,510
財政調整基金積立資産	第一信用金庫、JA上益城	-	災害等準備金	-	-	30,587,949
その他の固定資産合計						48,720,939
固定資産合計						49,720,939
資産合計						103,629,381
負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	3月分水道光熱費等	-		-	-	1,236,132
その他の未払金	3月分法定福利費、賃金等	-		-	-	2,174,175
預り金	3月分配食サービス個人負担金	-		-	-	50,400
職員預り金	社会保険料、雇用保険料等の預り金	-		-	-	1,130,722
賞与引当金	職員賞与引当金	-		-	-	3,482,000
流動負債合計						8,073,429
2 固定負債						
退職給付引当金	全国社協、熊本県社協	-		-	-	15,189,959
固定負債合計						15,189,959
負債合計						23,263,388
差引純資産						80,365,993

- (記載上の留意事項)
- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
 - ・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
 - ・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
 - ・「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。
- なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
 - ・建物についてのみ「取得年度」欄を記載する。
 - ・減価償却資産(有形固定資産に限る)については、「減価償却累計額」欄を記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。
 - また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
 - ・車輛運搬具の○○には会社名と車種を記載すること。車輛番号は任意記載とする。
 - ・預金に関する口座番号は任意記載とする。